

## ツマキトラカミキリ

澄川森林基地でのシラカバ製材の上を這っている虫に気づきました。クロスズメバチか?と思いつつ近づきました。トラカミキリ虫の一種だとわかりましたが、同定する自信はありませんでした。まずはデジカメで撮影。画像の記録は2014年6月30日10時20分でした。

調べまして、澄川での食樹はシラカバ、ケヤマハンノキのようです。体長は9.5~14mm、小さい方が♂で大きい方が♀です。分布はほぼ日本全土、他にはアジア極東および千島列島とのこと。ノリウツギやショウマ類の花にも寄りますので、澄川基地のノリウツギが咲いたら見にゆきま



しょう。

装いのパターンが類似しているカミキリが図鑑「札幌の昆虫」に掲載されているだけでも7種類もありました。その中でツマキトラカミキリが完璧に一致しました。黒と黄の縞模様は虎の模様なので、カミキリばかりでなくトラが名前の一部につけられた生き物は多いのです。

よく似た模様パターンで紛らわしい別種のカミキリの2種類の画像をご覧ください。左上がシラケトラカミキリ、左下がキスジトラカミキリです。それぞれ単独で出会った場合、これらを同定できるのは専門家にのみ可能だろうと思うのもご理解いただけと思う次第であります。

蜂に擬態した虫たちはいろいろまして、特にアブの仲間に多いのですが、このカミキリたちも負けてはいないことを下の画像で確認できます。左がツヤクロスズメバチ、右はフタオビドロバチです。昆虫の世界の擬態の様々には常々驚かされます。澄川に棲む身近な虫たちの中にもいろいろありますので、虫との出会いはいつも楽しめるのであります。



昆虫少年時代を過ごした九州に比べると北海道の虫との出会いの密度は凄く薄いのですが、この時期にはかなり密度が高まりますので、胸がときめく次第であります。